

## 第3章 スクリーニングと初期対応に関するガイダンス

以下の内容は、キャンプ医療スタッフが呼吸器感染症の可能性のあるキャンプ参加者やスタッフを特定するために、キャンプへの参加を許可または継続する前に使用できる3段階のスクリーニングを概説している。呼吸器感染症の症状があるキャンプ参加者やスタッフ全てがCOVID-19を持っているとは限らないが、スクリーニング手順を使えば医療を必要とする人、あるいはキャンプに参加できるか確かでない人を特定するのに役立つかもしれない。このガイダンスは、キャンプの既存の健康スクリーニング手順に追加できる。スクリーニングの3段階には、事前スクリーニング、初期スクリーニング、および継続的スクリーニングが含まれる。これらの手順に対し州および地域の規制から要件が追加される可能性があることを認識しておくことが重要である。

### 事前スクリーニング

キャンプに向かう参加者やスタッフに事前スクリーニングを行えば、到着前にそれぞれの健康状態を知ることができる。

キャンプが（保護者の助けを借りて）キャンプ参加者とスタッフの事前スクリーニングを要求する決定を下した場合、14日間自己測定する上で次のような事前スクリーニングを実施する必要がある：

- ・ キャンプ前の14日間、自分の体温測定と記録する（体温計に関する個々の指示を参照）。
- ・ 過去2週間に症状（摂氏38.0度以上の発熱、咳、息切れ、下痢、疲労、頭痛、筋肉痛、吐き気、味覚や嗅覚の喪失、喉の痛み、嘔吐など）があったかどうかのセルフチェックを行う。
- ・ 過去2週間以内に、国内または国外を旅行したか調査する。
- ・ COVID-19の診断を受けた人、検査した人、または隔離された人と濃厚接触をしたかどうか判断する。

キャンプ参加者またはスタッフの事前スクリーニング中に兆候が見つかった場合、キャンプは感染症計画（CDP）に従うか、CDPのない日帰りプログラムの場合は適切なチャイルドケア基準<sup>1</sup>に従い参加を許可するかどうか、決定する必要がある。キャンプは、キャンプ開始前に地域の保健機関とCDPを共有することを検討すべきである。

---

<sup>1</sup> American Academy of Pediatrics, American Public Health Association, National Resource Center for Health and Safety in Child Care and Early Education. 2019. *Caring for Our Children: National Health and Safety Performance Standards; Guidelines for Early Care and Education Programs*, Fourth Edition. Itasca, IL: American Academy of Pediatrics. <http://nrckids.org/files/CFOC4.pdf-FINAL.pdf>

事前スクリーニングおよびCDPに関する追加情報は、キャンプ看護協会（ACN）のウェブサイトに記載されている。

キャンプ環境における感染症管理

<https://www.campnurse.org/wp-content/uploads/2019/05/Communicable-Disease-Management-Strategies-for-the-Camp-Setting-2019.pdf>

開催初日のためのスクリーニングフォーム例（Gaslin, 2020）

<https://campnurse.org/wp-content/uploads/2020/03/Health-Screening-Form-2020.pdf>

事前スクリーニングのツール：<https://campnurse.org/> から入手可能

### 初期スクリーニング

初期スクリーニングは参加者とスタッフのキャンプ到着時に、ACA健康基準HW.6で推奨されている既存のスクリーニングに組み込まれるべきである。質問は事前スクリーニング手順で考慮されたものと同じである。キャンプ看護協会（ACN）は、上記のリンクでスクリーニングフォームの例を公開している。子どものCOVID-19について医療情報が更新されるに伴い、スクリーニングフォームの内容は追加情報や質問において更新される場合がある。初期スクリーニングの結果により、キャンプ参加を許可されるか、あるいは追加のスクリーニングと評価が必要かを決定する。

### 継続的スクリーニング

継続的スクリーニングは、キャンプが定める基準（例：毎日、毎週、あるいはより高い頻度）で実施されるべきである。キャンプの最初の日、キャンプのセッションやスタッフの入れ替わりがあるとき、潜在的な暴露を監視するとき、または日帰りキャンプの場合は毎日、スクリーニングの頻度を増やすことを検討する。

### 推奨される継続的スクリーニングの手順

各キャンプは継続的な評価をどのように実施するか決定できる。これらの活動は、最初の評価と同じものであってもよいし、キャンプはそれぞれの集団に適していると思われる標準化された質問と手順を独自に開発することもできる。例となる手順の概要を以下に示す。

1. COVID-19の症状について調べる個人的な質問：

<https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/symptoms-testing/symptoms.html> .

2. 次に、適切に選択した体温計でキャンプの過程に従い各自の体温をチェックする。体温計に付属する説明書を参照する。参加者またはスタッフ各人は、次の人に渡す前にアルコールティッシュ（またはイソプロピルアルコール綿棒）で体温計をきれいに拭く。

3. 参加者またはスタッフがこの評価に基づいてCOVID-19を持っていると疑われる場合は、マスクあるいは布製のフェイスカバーを着用させる。症状がある患者を他人から少なくとも2m隔離する。症状がある患者用エリアは、少なくとも2m離れた医療センターの他エリアまたは別の部屋でなければならない。医療スタッフは、COVID-19が疑われる症状をもつ患者と協力しながら、N95マスク（エアロゾル発生手技用）またはマスク、フェイスシールドやその他保護メガネ、使い捨て手袋、使い捨てガウン（エアロゾル発生手技を実施する場合）を着用する必要がある。
4. キャンプの感染症計画（CDP）に従い地域の医療関係者からの指導に沿って、キャンプ運営者、保護者、および適切な医療従事者に通知する。
5. 個人の管理に関する次のステップについては、感染症計画（CDP）に従う。例えば、疑わしいまたは可能性の高い症例の管理においては、キャンプ看護協会（ACN）の感染症計画（CDP）「対応計画および対応のはじめに」の章を参照する。

注：現時点では、COVID-19特定検査はスクリーニング手順に含まれない。

### 症例または可能性の高い症例の対応と管理

スタッフまたはキャンプ参加者がCOVID-19の可能性が高いまたは確認された症例と判断された場合、キャンプの感染症計画（CDP）の一部として事前に特定された場所で患者を隔離する。感染症計画（CDP）に記載されている手順に従い、以下の項目を考慮する：

- ・ キャンプ参加者またはスタッフがさらなる臨床評価を認めているかを検討し、もしそうであれば、対人または遠隔医療のいずれかを介して手配する。
- ・ キャンプ参加者またはスタッフが当座の臨床評価を必要としない場合、およびCDPが患者の帰宅を求める場合は、適切な帰宅が手配できるまで患者を隔離する。
- ・ キャンプ参加者またはスタッフが当座の臨床評価を必要としない場合、およびCDPがキャンプ施設内で患者の隔離を求める場合（例：宿泊を伴うキャンプ）：
  - CDCの2019年新型コロナウイルス感染症（COVID-19）における入院を必要としない人々のための自宅ケア実施のガイダンスに従い、
  - キャンプ運営者およびキャンプカウンセラーと共に手配し、患者の持ち物を移動させ、
  - CDPおよびフィールドガイドの「第6章 清掃・洗浄および消毒」に記載されている手順に従い、患者の就寝スペースを清掃する。
  - 州および地域の当局者への通知と検査の実施を検討する。

患者および疑わしい症例と参加者やスタッフとの、過去2日以上にわたる接触を確認するため、直ちに「接触者追跡」を実施することが重要である。

接触の可能性を評価し、通知することは、グループまたはキャンプ内の感染拡大を最小限に抑えるための基本的な管理対策である。CDCによると、2m以内での15分以上の交

流を濃厚接触と定義する。<sup>2</sup>接触者追跡は、地域の保健機関と連携して、訓練を受けたスタッフ（例：公衆衛生スタッフ、地域医療従事者、訓練を受けたボランティア）によって実施されるべきである。しかし、キャンプの医療スタッフは接触者追跡の一般的な原則を活用し、他の接触の可能性がある個人を入念に調査し始めることができる。日帰りおよび宿泊を伴うキャンプでは、該当する「グループ/生活班（世帯）」内にいたキャンプ参加者およびスタッフは症状の観察を強化する必要があり、キャンプではこのグループが他の「グループ/生活班（世帯）」またはグループへの接触を最小限に抑えることを含めた緩和措置を検討する必要がある。これには、食事、手洗いや入浴、プログラムの分離（シャドーキャンプ）が含まれる。日帰りキャンプは、診断が確認できるまで接触があった「グループ/生活班（世帯）」は家にとどまること、陽性の場合「グループ/生活班（世帯）」に感染リスクがなくなったと判断されるまで家にとどまることを求めるよう検討するかもしれない。

以下のリンクは、COVID-19感染拡散を減らすための接触者追跡におけるCDCの基本原則を公開している。フィールドガイドは、キャンプ内での接触者追跡に関する現段階でのガイダンスに詳細なガイダンスをCDCが追加する場合に更新される。

アメリカ疾病予防管理センター COVID-19接触者追跡トレーニング：ガイダンス、資料、サンプルトレーニング計画 接触者の追跡における主要な CDCの推奨事項は以下の通りである：

- ・ 接触者追跡の基本原則に常に従う。
- ・ トレーニングを受けたスタッフまたはトレーニングを受けたボランティアのみで接触者追跡を実施する。トレーニングはキャンプ開始前に行うべきである。
- ・ 接触者を迅速に特定し、他のキャンプ参加者やスタッフと交流しないようにする。
- ・ 地域および州の保健機関およびキャンプ関係者全員とコミュニケーションを取る。
- ・ **最善策**：データ管理と技術ツールを実践して、症例調査、接触者追跡、接触者のフォローアップと観察をサポートする。
- ・ 接触者追跡プログラムの主要部分を管理し、必要に応じてパフォーマンスを改善する。

接触者追跡に関する疾病への認識レベルのトレーニングは、ジョンズ・ホプキンス大学が公開している。以下のリンクで入手できる：

<https://www.coursera.org/promo/covid-19-contact-tracing>

---

<sup>2</sup> <https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/php/principles-contact-tracing.html>

## 感染拡大防止に関するガイダンス

### 運営者からのコミュニケーション

- ・ CDCの印刷物（子どもや十代の若者向けのポスターを選ぶ）を、バスルームおよびトイレの近くに掲示し、いつどのように手を洗うか注意喚起する。
- ・ 正しい手洗い方法についてCDCビデオをトレーニングプログラムに取り入れ、上映、配布する。
- ・ 食堂、共用エリア、キャビンなど、フィジカル・ディスタンスを推奨する重要な場所にCDCの印刷物を掲示する。

### 手指の衛生

#### 手洗いと消毒をするタイミング-キャンプ参加者と一般スタッフ

- ・ 食べ物を食べる前（例：食堂に入る時）
- ・ キャビンに入る時
- ・ 病気かもしれない人と接触した後
- ・ 頻繁に触られる場所（手すり、ドアノブ、カウンターなど）に触れた後
- ・ トイレを利用した後
- ・ スポーツ用品、コンピューターのキーボード、マウス、クラフト道具など、共有のアイテムを使用した後
- ・ 咳、くしゃみ、鼻をかんだ後

#### 手洗いのタイミング-厨房と食堂スタッフ

食品を準備するため既に行っている最善策が適用される。コロナウイルスは食品媒介ではないが、食品サービスの従業員が感染すると、同僚や食堂利用者にウイルスを拡散する可能性がある。詳しくは「第5章 食品サービスに関するガイダンス」を参照。手袋を使用するかどうかにかかわらず手洗いは同様に重要であり、すべての推奨事項は手袋の使用に関係なく適用される。

- ・ 手袋を使った前後
- ・ 食品を準備する前後、および準備中。
- ・ 生肉、鶏肉、魚介類、卵を扱った後
- ・ ごみに触れた後。
- ・ トイレを利用した後
- ・ カウンターを拭いた、あるいは化学薬品を使い他の箇所を洗浄した後
- ・ 咳、くしゃみ、鼻をかんだ後
- ・ 休憩の前後



## 手の洗い方

1. 手指を清潔な流水で濡らす。蛇口のハンドルを閉めて、石けんをつける。
2. 石けんを手に塗りながら泡を手につける。手の甲、指の間、爪の間で石けんをきちんと泡立てるようにする。
3. 少なくとも20秒間（「ハッピーバースデー」を2回歌えるくらいの時間）手をこすり合わせる。
4. 清潔な流水でよく洗い流す。
5. 清潔なタオルまたはエアドライヤーを使って手を乾かす。

蛇口を閉めたりトイレのドアを開けたりするのにペーパータオルを使うとよい。

## アルコール系手指消毒剤の使い方

手指消毒剤は、60%以上のエタノールまたは70%以上のイソプロパノールを含んでいる必要がある。手指消毒剤は、厨房と食堂スタッフにとって手洗いの代わりになることはない。

1. 片手の手のひらに製品をのせる。
2. 手をこすり合わせる。指の間、指先、手のひら、手の甲に、製品を確実に塗りつける。
3. 手が乾く（20秒程度）までこすり合わせ続ける。

## 手洗いについての誤解

- ・ 水温は重要ではない。清潔であれば冷水と温水の効果性は等しい。
- ・ 抗菌石けんは、通常の石けんより効果が高いわけではない。
- ・ 固形石けんと液体石けんの効果性は等しい。
- ・ 手が目に見えて汚れているか油まみれの場合、石けんとはアルコール系手指消毒剤よりも効果がある。
- ・ 水があっても石けんや手指消毒剤がない場合、水の下で手をこすり合わせ、清潔なタオルで乾かすか空気乾燥させると、ある程度の細菌を取り除くことができる。最終手段としてのみ、この方法を使用すべきである。

## フィジカル・ディスタンス

フィジカル・ディスタンスは、「ソーシャル・ディスタンス」としても知られている。フィジカル・ディスタンスは、安全に他人と交流できる感染防止対策である。しかし、時間の経過などで条件が満たされた場合でも、合体されたグループを分離する方法の代りにはならない。「第3章 感染拡大防止に関するガイダンス」を参照。

キャンプのため、CDCは間隔を広げることでのフィジカル・ディスタンス、小規模グループ、グループ同士の混ざり合いを制限、実行可能であれば送迎のスケ

ジュールに時差を設けることを推奨する。<sup>1</sup>

### 参照先および資料

U.S. Centers for Disease Control and Prevention. *When and How to Wash Your Hands.*

<https://www.cdc.gov/handwashing/when-how-handwashing.html>

U.S. Centers for Disease Control and Prevention. *Hand Hygiene.*

<https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/hcp/hand-hygiene.html>

U.S. Centers for Disease Control and Prevention. *Handwashing: A Healthy Habit in the Kitchen.*

<https://www.cdc.gov/handwashing/handwashing-kitchen.html>

U.S. Centers for Disease Control and Prevention. *Life is Better with Clean Hands Campaign.*

[https://www.cdc.gov/handwashing/campaign.html#anchor\\_1569614257](https://www.cdc.gov/handwashing/campaign.html#anchor_1569614257)

U.S. Centers for Disease Control and Prevention. *Protect Yourself.*

<https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/prevent-getting-sick/prevention.html>

U.S. Centers for Disease Control and Prevention. *Social Distancing.*

<https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/prevent-getting-sick/social-distancing.html>

---

<sup>1</sup> U.S. Centers for Disease Control and Prevention. *Youth Programs and Camps during the COVID-19 Pandemic.* <https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/community/schools-childcare/Camps-Decision-Tree.pdf>